

第 19 回アジア競技大会（2022/杭州）
総合馬術競技 代表人馬選考について（概略）
<大会期日　：　2022年9月10日～9月25日>

標記大会の代表人馬の選考にあたっては、次代を背負って立つ若手選手の国際舞台での活躍の登竜門と位置付け、また今大会が世界総合馬術選手権大会（イタリア、プラトニ・デル・ヴィヴァロ、2022年9月14日～18日）と日程が重複することも考慮し、オリンピック、世界選手権大会出場経験者を除いた中から選抜する。新型コロナウイルス感染症など伝染病流行の危険を回避すべく日本国内でのみ最大3回の選考競技会を行い、上位者を総合馬術本部が推薦しオリンピック対策会議で審議を経て、理事会の承認をもって決定することとする。

1. 選考内容

- ◆ アジア大会に参加する意思のある者（除：オリンピック、世界選手権大会の総合馬術競技出場経験者）を公募し、アジア大会の大会実施要項で定められた定数の代表人馬と補欠1人馬を選考する。
- ◆ 出国検疫に入る直前に当連盟が指定する獣医師による馬の検査を実施する。診断の結果によっては、補欠人馬との入れ替えを行なう場合がある。
- ◆ 代表馬が出国検疫に入った時点で補欠としての資格は消滅する。
- ◆ 新型コロナをはじめとする感染症対策も鑑み、2022年4月・5月・6月に日本国内で実施する選考競技会の成績により代表人馬を決定する。

2. 注意事項

- ◆ 選考競技会においてはチーム獣医師あるいは日馬連指定の獣医師によるインスペクションおよび候補馬を対象としたドーピング検査を実施する。
- ◆ さらに代表となった馬は追加で獣医検査およびドーピング検査を実施し、その診断の結果によっては補欠人馬との入れ替えを行なう場合がある。
- ◆ ドーピング検査の結果、陽性となった馬匹については、いかなる場合でも代表としない。
- ◆ アジア競技大会組織委員会の実施要項に合わせて選考する代表人馬数を増減する事がある。
- ◆ アジア競技大会にて団体種目及び個人種目への出場人馬を先に宣言する必要がある場合、監督がその出場人馬を決定する。
- ◆ 「JEF ナショナルチームの行動方針」に反する行為があった場合は、選考の対象から外しチームメンバーの認定を取り消す。